

悲しきかな。皇太后陛下には神靈とこしへに神去り給ひぬ。

畏きことながら渾然として玉の如き陛下の御聖徳は、帝國臣民の母として常に慕ひ奉り仰き奉りたる處、或は儉素なる御日常を漏れ承はり、或は慈仁なる博愛救護の御惠澤を數へ、或は高雅なる御詞藻の數々を拜誦吟詠して、其のゆたかなる恩光に浴せざるものはあらざりき。

しかも悲しきかな。今や神靈升遐し給ひて、麗容徽音再び拜せんよすがもなし。誠に誠に悲しいかな。